

氏名	浅川泰宏	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	文化人類学、民俗学、宗教学				
学位	博士（社会学）				
学歴	1997年3月慶應義塾大学総合政策学部卒業、2000年3月慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了、2003年3月慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学				
経歴	2008年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2013年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本文化人類学会、日本民俗学会、日本宗教学会、「宗教と社会」学会、徳島地域文化研究会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	埼玉県立大学奨励研究（科研コ20015）	修行大師像の展開に関する事例調査		研究代表者	2010.4～2021.1		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）	霊場資料学の構築と霊場文化の解明による四国遍路の総合的研究		研究分担者	2020.4～2025.3		
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	地域資源を活用した住民による家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修の効果		研究分担者	2020.4～2023.3		
4	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト A-2	人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表示プロセスを推進する研修プログラムの開発		研究分担者	2020.4～2025.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	文化人類学	○	15	異文化理解やフィールドワーク、巡礼、祝祭について講義した。Zoom上でのディスカッションやGoogleマップを利用した学修成果の地図化などを取り入れ、履修者同士の「つながり」を促進させた。			
2	民俗学	○	15	年中行事や民俗宗教などの日本の民俗について講義した。地域の民俗を取り入れた七夕飾りの作成を課題とし、学修成果をZoom上の発表会形式で公開するなど、学生の主体的な学びを促した。			
3	宗教学	○	15	死者供養、他界観、巡礼などの宗教文化について講義した。NHKの地域動画サイト「みちしる」を活用して、宗教文化についての学生の主体的な学びを促した。			
4	埼玉研究	○	8	「民俗学」「生物学」「居住福祉」「地学・地理学」「化学・環境学」の視点から地域を考察するオムニバス講義を運営した。学修成果を発表するポスターセッションをオンラインで実施した。			
5	総合文化研究A	○	8	御府内八十八ヶ所（東京）と武蔵国八十八ヶ所（越谷・草加・川口周辺）について、Googleマップや国立国会図書館デジタルコレクションを活用したオンラインフィールドワークを行った。			

6	教養ゼミナール	○	15	オンラインでゼミを運営した。コロナ禍における文化の変容、現代社会と巡礼文化、リモート初詣などについて議論し、オリジナルなテーマを持つ巡礼コースをGoogleマップ上で作成した。
7	人間の探求		8	生物学(小林教授)と文化人類学の視点から人間像の多様性を紹介した。物理学(石原教授)、化学(四ノ宮准教授)の講義内容について、漫画作品を題材に高村准教授らと人間の「価値」を考える話題提供を行った。
8	スタートアップ・セミナー		15	PBLテュートリアル形式でのグループ学習を支援した。
9	医療人類学	○	15	近代日本の健康をテーマにオンラインで実施した。新聞記事データベースを利用した大正時代の「大衆医薬品」「衛生商品」「スペイン風邪の大流行」についての調査・発表を指導した。
10	助産業務管理		1	「お産と文化-人類学・民俗学・宗教学の視点から」を担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	-			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	-			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2010.4~2021.1	主指導	1名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	明治大学情報コミュニケーション学部非常勤講師	2020.4~2020.9	宗教学の非常勤講師を15コマ担当した。オンデマンド方式の講義で掲示板を活用することで双方向性を確保した遠隔授業を実施した。	
2	晃陽看護栄養専門学校非常勤講師	2020.5~2020.7	社会学の非常勤講師を15コマ担当した。講義動画を送信し、学生の課題と質問は郵送で対応する形での遠隔授業で実施した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県立保健医療福祉学会	編集委員		2018.4~現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	テレビ埼玉	「ニュース930」にて遠隔授業に関する授業紹介とインタビュー	2020.12	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員		2018.4~2021.3
2	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長		2018.4~2021.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				